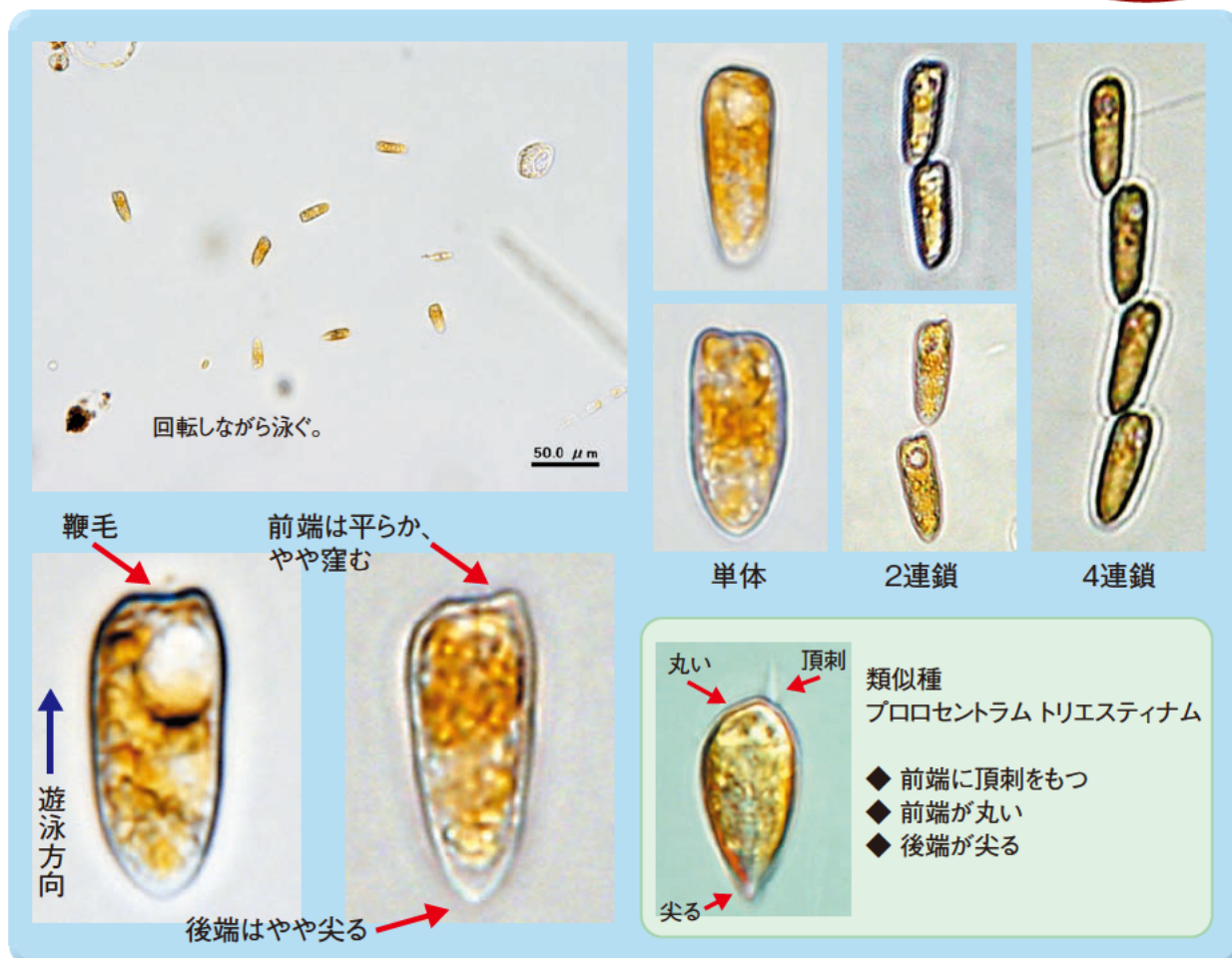


# プロロセントラム デンタータム類似種(渦鞭毛藻)

(*Prorocentrum* sp. aff. *dentatum*)

動画



**大きさ** 長さ15~30μm、幅8~15μm

**形態** 色は黄褐色。細胞はやや扁平で、向かい合わせに2枚の皿状の殻が合わさった形をしている。正面から見ると、槍の穂先のような形をしており、前端は平らか、やや窪み、後端はやや尖る。前端の窪み付近にある鞭毛孔(べんもうこう)から2本の鞭毛が伸びるが確認しづらい。前端に棘はない。2ないし4細胞の連鎖群体をつくる。類似種のプロロセントラム トリエスティナム(*Prorocentrum triestinum*)とは、細胞の形と、前端の頂刺(ちょうし)と呼ばれる棘の有無で区別できる。

**動き** 回転しながら泳ぐ。

**その他** 日本国内で発生する種は、本来のプロロセントラム デンタータムとは別種であり、プロロセントラム シコクエンセ(*Prorocentrum shikokuense*)であることが最近になって報告された。今後、名称が改正されるものと思われる。

**漁業への影響**：マガキの着色現象(茶変カキ)の原因になるとされる。マガキの中腸腺(ちゅうちょうせん)と呼ばれる消化器官が茶褐色に変色したり、むき身にしたマガキの内臓から茶褐色の液がにじみ出たりして、商品価値が低下する危険性がある。

**漁業被害**：赤潮の発生事例は多いが、三重県沿岸では単独赤潮で漁業被害が発生した事例はない。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸

**発生時期**：5~10月頃